

ルイスヒメコクヌスト *Ancyrona lewisi* Reitter, 1876

日本.

本種は前種の前古参シノニムの可能性がある.

ケマダラヒメコクヌスト *Ancyrona shibatai* Nakane, 1963 (図16) 日本 (屋久島, 奄美大島, 徳之島).

徳之島からは初記録 (標本データ: 1ex., 徳之島町手々林道, 17. III. 2009, 一柳考志採集). 屋久島の記録は田中 (2011) による.

[the japonica species-group]

チビコクヌスト *Ancyrona japonica* Reitter, 1889 (図20) 日本 (北海道, 本州, 四国).

[species-group uncertain]

マルヒラタコクヌスト *Ancyrona higonina* (Lewis, 1894) (図21) 日本 (本州, 九州).

台湾マルヒラタコクヌスト *Ancyrona marginata* (Grouvelle, 1913) (図22) 台湾, 日本 (石垣島).

Kolibáč (2013) のリストでは脱け落ちている種.

Tribe Lophocaterini Crowson, 1964

ホソチビコクヌスト属

Genus *Lophocateres* Olliff, 1883

ホソチビコクヌスト *Lophocateres pusillus* Klug, 1883 (図23) 日本 (本州, 九州), 汎世界.

貯穀害虫で, 外来種とされる.

正体不明種

Ostoma higonina Lewis, 1894

体長6.5mmで, Yuyamaから得られた1個体を基に記載された. Kolibáč (2013) は不明種として扱っている.

謝辞

本報告を纏めるにあたり, 文献類についての指摘を頂いた亀澤洋氏と林成多博士 (ホシザキグリーン財団) にお礼申し上げる. 本報告に用いた標本の一部は, ホシザキグリーン財団との共同研究における調査の際に得られたサンプルを基にしている.

引用文献

- Crowson, R. A., 1964. A review of the classification of Cleroides (Coleoptera), with descriptions of two new genera of Peltidae and several new larval types. Transactions of the Royal Entomological Society of London, 116: 275-327.
- 芳賀 馨, 1983. カバイロコクヌストを奥鬼怒で採集. 月刊むし, (149): 31.
- 平野雅親, 1986. アサヒナコクヌストを北海道で採集. 月刊むし, (189): 38.
- 平野幸彦・上田康之・渡 弘・吉田篤人, 1993. 伊豆新島産甲虫類採集報告. 神奈川虫報, (104): 1-12.
- Kolibáč, J., 2013. Trogossitidae: A review of the beetle family, with a catalogue and keys. ZooKeys, 366: 1-194.
- 倉橋敏一, 1964. カバイロコクヌスト本州に産す. 昆虫学評論, 16(2): 63.
- 宮武睦夫, 1985. コクヌスト科. Pp. 147-150, pl. 24. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之 (編著): 原色日本甲虫図鑑 (III). 500 pp., 保育社.
- 中根猛彦, 1963. コクヌスト科. Pp. 181-186, pl. 91. 中根猛彦ほか (編): 原色昆虫大図鑑 (II) 甲虫編. 443 pp., 北隆館.
- 西田貞二・荒木 哲, 1987. アサヒナコクヌストの北海道における記録. 月刊むし, (196): 36-37.
- 佐々木恵一, 1984. コクヌスト科2種の採集例. Jezoensis, (11): 73.
- 田中 稔, 2011. 屋久島産コクヌスト2種の記録. さやばねニューシリーズ, (2): 17.
- 鳥飼兵治, 1974. 飛騨高地の鞘翅目について. 岐阜県高等学校生物教育研究会編, 岐阜県の動物. Pp. 191-206. 大衆書房.
- 山崎秀雄, 1992. カバイロコクヌスト本州の記録. 甲虫ニュース, (100): 36.
- 吉富博之, 1989. 本州におけるカバイロコクヌストの記録. 月刊むし, (218): 38.

(2018年5月31日受領, 2018年6月13日受理)

【短報】八重山諸島からチビドロムシ科2種を記録

筆者らは, 八重山諸島の竹富島と石垣島からそれぞれ未記録と考えられる2種のチビドロムシ科甲虫を採集しているので報告する.

ババチビドロムシ *Babalimnichus masamii* M. Satô, 1994 (図1, 2)

39 exs., 竹富島 竹富町竹富, 3. IV. 2018, 稲畑採集・保管.

本種は, 海岸岩礁に生息する種で, 本州 (千葉県, 神奈川県, 愛知県, 三重県, 和歌山県, 島根

県, 岡山県, 広島県, 山口県), 伊豆諸島, 佐渡島, 四国 (高知県, 愛媛県), 九州 (宮崎県, 長崎県), 屋久島, 琉球列島 (奄美大島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖縄島, 伊良部島, 宮古島, 石垣島, 与那国島) にかけて広く分布することが知られている (浅野ほか, 2012; 岡田, 2015; 小野ほか, 2012; 亀澤, 2017; 河上・林, 2007; Satô, 1994; 中島, 2005; 生川ほか, 2011; 藤谷, 2006; 藤原, 2009; 松田, 2018; 屋富祖ほか, 2002; 山地, 2006; Yoshitomi, 1998; 吉富, 2011; 吉富, 2014; 吉富・新井, 2004; Yoshitomi & Satô, 2001; レッド



図1-2. ババチビドロムシ (1) と生息環境の西栈橋岩礁 (2)。

データブックひろしま改定検討委員会, 2012)。

採集場所は、竹富島の西端にある西栈橋周辺の岩礁地帯である。採集時は干潮で、岩礁が広く出現していた。本種は、高潮線のすぐ下部の直径10-20 cm 前後の小さな潮溜まりに集中してみられた。潮溜まりに海水が残っている場合は水際部に集中しており、海水が溜まっていないところでは全体的に静止している姿が観察された。なお、目撃した個体の一部を採集した。

キンケチビドロムシ *Chibidoronus aureus* M. Satô, 1966 (図3-5)

1♀, 石垣島 石垣市登野城 名蔵ダム上流, 28. II. 2014, 稲畑採集・保管。

8exs., 石垣島 石垣市伊土名 吹通川, 6. VI. 2014, 上手採集・保管。

本種は、原記載論文で西表島から記録されて以降、新たな産地が知られていなかった (Satô, 1966: 屋富祖ほか, 2002)。名蔵ダム上流では、親水公園近くの川幅4-5 m の早瀬でヒメドロムシ類とともに得られた。吹通川の溪流では、ガムシ類やヒメドロムシ類を採集中に得られたものであり、両地点とも厳密には水際の陸上部で採集したものである。全形と交尾器の撮影には、それぞれ別の個体を使用した。

末筆ながら、文献の入手に御協力いただいた岩国市の辻雄介氏、沖縄県におけるチビドロムシ科の記録に関して、情報収集をしていただいた青柳克氏に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 浅野 真・川島逸郎・小野広樹, 2012. 三浦半島の海浜における昆虫類の記録, 第1報. 神奈川自然誌資料, (33): 65-74.
- 岡田亮平, 2015. 和歌山県におけるババチビドロムシの記録. さやばねニューシリーズ, (20): 46.
- 小野広樹・亀澤 洋・菅谷和希, 2012. 千葉県における海岸性甲虫2種の記録. さやばねニューシリーズ, (5): 47-48.



図3-5. キンケチビドロムシ (3) と雄交尾器 (4), および生息環境の吹通川 (5)。

- 亀澤 洋, 2017. 佐渡島からのババチビドロムシの採集記録. さやばねニューシリーズ, (25): 54.
- 河上康子・林 成多, 2007. 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 37-76.
- Satô, M., 1966. The Limnichid-beetles of Japan. Trans. Shikoku Ent. Soc., 9(2): 55-62.
- Satô, M., 1994. Note on the genus *Pseudeucinetus* Heller and its new relative (Coleoptera: Limnichidae). Special Bulletin of the Essa Entomological Society, Niigata, (2): 173-177.
- 中島 淳, 2005. ババチビドロムシの九州 (宮崎県) からの採集記録. 甲虫ニュース, (151): 17-18.
- 生川展行・中山 惇・岡 由佳里・横関秀行・稲垣政志・官能健次・市川 太, 2011. 志摩半島の甲虫. 生川展行 (編), 志摩半島の昆虫—三重昆虫談話会創立55周年記念事業—, pp. 66-195. 三重昆虫談話会.
- 藤谷美文, 2006. ババチビドロムシの採集記録. 山口のむし, (5): 46-47.
- 藤原淳一, 2009. 長崎県におけるババチビドロムシの記録. 甲虫ニュース, (168): 3.
- 松田真紀子, 2018. 下関市の海岸性節足動物の分布と生態. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (10): 131-143.
- 屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小濱継雄・佐々木健志・木村正明・河村 太 (編), 2002. 琉球列島産昆虫目録 増補改訂版, 570 pp. 沖縄生物学会, 西原.
- 山地 治, 2006. 岡山県でババチビドロムシを採集. 月刊むし, (430): 19.
- Yoshitomi, H., 1998. A new record of *Babalimnichus masamii* (Coleoptera: Limnichidae) from Yakushima Island. Elytra, Tokyo, 26(1): 160.
- 吉富博之, 2011. ババチビドロムシの四国からの採集記録. さやばねニューシリーズ, (3): 22.
- 吉富博之, 2014. 伊豆諸島の水生甲虫類. さやばねニューシ

リーズ, (16): 26-31.
 吉富博之・新井浩二, 2004. ハバチビドロムシの与那国島からの採集記録. 甲虫ニュース, (148): 23.
 Yoshitomi, H. & M. Satô, 2001. Description of the larva of *Babalimnichus masamii* M. Satô (Coleoptera: Limnichidae, Thaumastodinae). Coleopterist's Bulletin, 55(4):471-474.
 レッドデータブックひろしま改定検討委員会(編), 2012. 広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第3版)ーレッドデータブックひろしま 2011ー. 633pp., 広島県.

(稲畑憲昭 601-8441 京都市南区西九条南田町9)
 (上手雄貴 467-8615 名古屋市瑞穂区萩山町1-11
 名古屋市衛生研究所)

【短報】石川県におけるガロアオニアリヅカムシの記録



図1. ガロアオニアリヅカムシ

ハネカクシ科アリヅカムシ亜科ムネトゲアリヅカムシ上族 *Batrisini* 族 *Batrisina* 亜族に属する *Batrisodes* (*Batrisodes*) *galloisi* Jeannel, 1958 ガロアオニアリヅカムシ(図1)は, Jeannel (1958)によって当初, *Excavodes* 亜属の種として, 栃木県中禅寺湖から記載された. その後,

Nomura (2007) は, 本種が後脚けい節先端に短毛束を備え, 触角第10節が膨らむとともに分泌器官の開口部があることや同第11節基部にカギ状突起があることから, *Batrisodes* 亜属(名義タイプ亜属)の特徴と一致するとし, *Excavodes* 亜属から *Batrisodes* 亜属に移し, 現在に至っている.

また, 野村(2007)は, 本種の分布を北海道, 栃木県, 東京都および岐阜県としているほか, *Batrisodes* 亜属の特徴を電顕写真で示しており, 野村(2008)では, 山梨県から高所 FIT により本種が記録されている.

これらを踏まえて, 日本産ハネカクシ総目録(柴田ほか, 2013)において, 本種の分布は北海道および本州とされており, 分布範囲が局地的な種であることが分かる.

このたび, 筆者は, 石川県金沢市郊外の竹林と隣接する雑木林(図2)で, 地表より約1mの高さ



図2. 石川県金沢市四十万町の調査地.

に設置した FIT により本種を採集したので, 以下のとおり報告する.

なお, この採集地では, 2004年および2014年の4~10月にかけて, 地表に設置した FIT 調査を実施しているが, 本種は採集されていない.

本報告を記すにあたり, 本種の同定および常日頃ご指導をいただいている国立科学博物館の野村周平博士に感謝の意を表す.

2 exs., 石川県金沢市四十万町(雑木林 FIT), 9. IV.-3. V. 2016, 筆者採集・保管.

引用文献

- Jeannel, R., 1958. Revision des Pselaphides du Japon. Mem. Mus. Hist. nat., Paris, (Ser. A, Zool.), 18: 1-138.
 Nomura, S., 2007. Taxonomical notes on the Japanese species of genus *Batrisodes* Reitter, with a description of a new species from Yonagunijima Island of the Ryukyus (Coleoptera: Staphylinidae: Pselaphinae). Ent. Rev. Japan, 62: 51-61.
 野村周平, 2007. 渋谷のアリヅカムシ. 甲虫ニュース, (160): 7-9.
 野村周平, 2008. 山梨県で FIT により採集したアリヅカムシ. 甲虫ニュース, (164): 7-9.
 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡部泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録. 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69-218.

(中田勝之 921-8112 金沢市長坂3-4-1)